



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621 8585

京都府亀岡市篠町篠野田11

TEL 0771257313

FAX 0771257312

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
亀岡市立病院新改革プラン(素案)について	2
平成27年度市立病院の決算概要について	3
平成28年度第2回亀岡市立病院健康講座開催のお知らせ	4
トピックス 亀岡市立病院を見つけよう!	5
糖尿病教室からのお知らせ 新任職員紹介 病院職員紹介	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8



ごあいさつ

皆様明けましておめでとうございます。平成29年2月1日で、院長として亀岡市立病院に就任して、まる2年が経とうとしています。病院の存在を市民の皆様へアピールする機会を増やすため、市民健康講座の開催や、ホームページの充実、そして病院紹介掲示板の設置など、就任直後からの企画発信もようやく形になってきました。28年度4月には常勤医の欠員も解消されましたが、病院の経営改善まで形として示すまでには至っておりません。経営改善には売り上げの増加が必須ですが、悪徳病院ではありませんので過剰医療に走っては元も子もありません。適正で信頼される医療を継続して、地域に根ざした病院として存在する努力を積み重ねる中に、市立病院の存在意義を見出したいと考えております。病院は、入院機能を充実して初めて運営が軌道に乗りますので、どうしても外来機能の簡素化、地域の先生方との密な関係構築が望まれます。すなわち、症状の落ち着いた患者様の通院は地域の先生方にお任せし、病院は主に入院業務、救急業務に専念することが病院運営には求められ、そのような体制づくりが病院経営改善には必要な方向です。しかしこの事は、症状が落ち着いて市立病院に通われている患者様にとっては病院に見放されるように思われ、お叱りを受けることになりかねません。この方向性で保険制度が進められていますので、現場がどう足掻こうと変わるものではありません。病院が生き残って地域貢献できる事を主たる目標として、引き続きスタッフ一同邁進してまいりますので、皆様のご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



亀岡市立病院事業管理者
兼亀岡市立病院長事務取扱
兼地域医療情報センター長 玉井 和夫

亀岡市立病院新改革プラン(素案)について

◆ 新改革プラン策定の経緯

市立病院は、市民の切実な要望により南丹医療圏に不足する医療提供機能の補完を目的として、平成16年に開設した市内で唯一の公立病院です。開設以来、市民が安心して生活できる急性期医療や救急医療の提供を基本的役割として運営してきました。

いま、国においては、2025年に向けた病床配分の見直し等の医療制度改革や公立病院改革が進められている中、公立病院に対し今後の方向性や役割を明確にするよう求めています。

これを受けて、市立病院では、医療環境の変化に応じた柔軟かつ機動的な対応のできる病院を目指して、昨年の8月に外部の医療の専門家等で構成する「亀岡市立病院経営審議会」を設置し、「市立病院の今後のあり方」と「市立病院新改革プラン」(平成29～32年度経営計画)について、継続的に審議いただいているところです。新改革プランについては、本年度内に策定することにしてはいますが、プラン(素案)の概要についてお知らせいたします。

◆ 新改革プランの基本方針

★入院機能の急性期病床を段階的に回復期病床(地域包括ケア病床)に転床していきます。

亀岡市を含む南丹医療圏では、今後も高齢化の進展により、リハビリテーションを必要とする様々な疾患がますます増加し、それに伴って回復期病床の深刻な不足が推測されています。

市立病院の病床構成は、現状、急性期90床・回復期10床であります。新改革プランでは、今後の医療需要に対応していくために平成30年度を目標として段階的に急性期50床・回復期50床に転床していく方針です。

急性期病床においては、地域の医療機関や救急隊との連携を強化し、より急性期治療に特化した患者の受入れを行います。また、回復期病床においては、リハビリテーション体制を充実させ、高度急性期後の患者の受入れや在宅患者の緊急時の受入れ、在宅復帰支援など幅広い対応が可能な病床となり、公立病院として国の進めている地域包括ケアシステムを支える役割を担っていきます。

★外来機能は、基本的には現状の14診療科の体制を引き続き維持していきます。

外来機能については、基本的には政策的な医療機能を含めて現行の診療体制を維持したうえで、地域の医療機関からの紹介と逆紹介数を向上させていきます。現在の14診療科は、たとえ不採算であっても地域に不足している機能を補完しているため、公立病院として維持していきます。また、地域の医療機関との連携を進め、医師を含めた医療資源の有効活用ができる体制を構築して、必要とされる地域医療を担っていきます。

★救急医療機能は、現状の救急体制を維持し、応需率の向上に努めます。

亀岡市内での救急搬送については、市立病院を含め3病院で患者の受入に対応しています。市立病院は、開院当初から夜間・土日祝日の常時救急医療に対応してきました。救急搬送で入院を必要とする患者の約8%を受入れており、救急医療に一定の役割を果たしています。

今後においても、現状の医師数を確保し、内科外科の2診当直体制を維持したうえで、救急搬送の応需率の向上に努め、公立病院の使命として地域医療に貢献していきます。

★経営の効率化に努め、経常収支の均衡化を計画期間内に達成し、経営の健全化を図ります。

収益面においては、地域連携の強化による紹介患者、新入院患者の確保、急性期と回復期病床の効率的運用による病床稼働率の向上など、入院収益の維持・向上に努めます。

費用面においては、病床の転床に伴う人員配置の見直しによる人件費の削減、委託業務の見直しによる経費の削減等支出の適正化に努めます。

計画期間内に設定した重点施策の目標値を達成するとともに、経常収支の均衡化(黒字化)を達成することで、経営の健全化を図ります。

詳しくは、市立病院ホームページをご覧ください。

平成27年度市立病院の決算概要について

亀岡市立病院は、平成16年度に開院して以来、市民の皆さまの命と健康を守るための安全安心の拠点施設として、良質な医療を継続して提供しています。

また、公立病院としての役割を着実に果たすため、地域医療機関との連携を深め、医療サービスの向上や診療体制の充実、経営の効率化に努めているところです。

今後も引き続き、職員が一丸となって、病院理念の達成と市民の皆さまから信頼される病院づくりを目指した病院運営に取り組んでまいります。

平成27年度につきましては、病院事業も11年目を迎える中で、外科手術で使用する腹腔鏡手術用硬性ビデオスコープを新たに購入し、その他診療に使用する医療用装置等を更新するなど、最新の医療機器等を優先度の高いものから計画的に整備しました。

1. 患者数の状況

入院患者数は、年間では26年度に比べ879人減少して延べ23,530人となり、1日平均では26年度に比べ2.6人減少して64.3人となりました。病床利用率は、26年度に比べ2.6ポイント減少して64.3%でありました。

また、外来患者数は、年間では26年度に比べ2,353人減少して延べ64,277人となり、1日平均では26年度に比べ8.6人減少して延べ264.5人となりました。

2. 収益的収入及び支出の状況

収益的収入は、26年度に比べ1億4,247万円減少して20億590万円となりました。内訳は、入院収益が8億8,038万円、外来収益が6億1,742万円、一般会計繰入金が4億3,866万円、室料差額や予防接種などの収入が6,944万円となっています。一般会計繰入金は、国の制度などにより、病院事業の経費のうち政策医療である救急救命医療や高度医療など国や市の一般会計が負担すべきと決められている経費に相当する収入です。

一方、収益的支出は、26年度に比べ4,846万円減少して24億670万円となりました。内訳は、常勤や非常勤職員の給与費が12億6,874万円、薬品や診療材料などの材料費が3億5,890万円、施設の管理運営などの経費が3億5,899万円、施設や医療機器などの減価償却費が2億3,849万円、企業債の支払利息が5,450万円、その他が7,664万円、地方公営企業会計制度改正により生じた特別損失が5,044万円となっています。

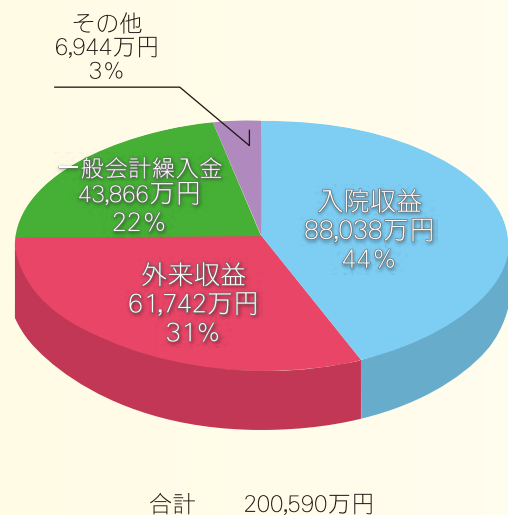
年間の経営成績をあらわす収益的収支差引では、平成26年度に1億8,302万円の経常損失(赤字)を計上しましたが、平成27年度は、3億5,036万円の経常損失を計上し、特別損失5,044万円を加えた純損失は4億80万円となりました。

その結果、前年度からの繰越欠損金1億2,377万円を加えた当年度未処理欠損金は5億2,457万円となっています。

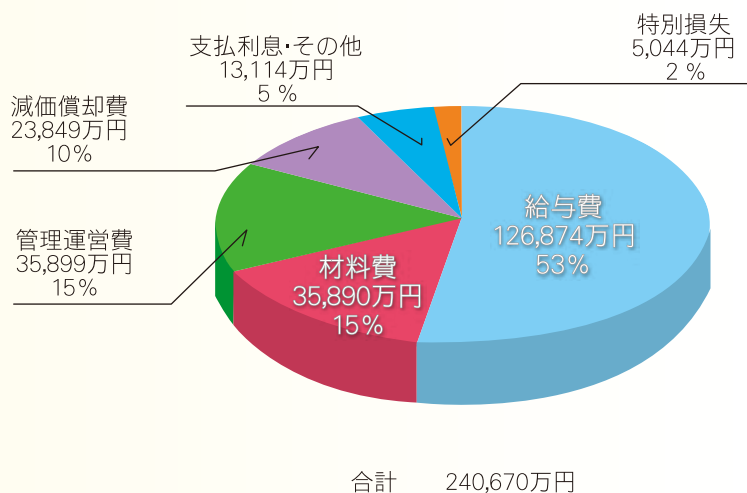
今後とも“安心と信頼の医療”を目指し、公共性と経済性を考慮して透明性のある病院運営に努めてまいりますので、市民の方々をはじめ関係各位の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

※平成27年度病院事業会計決算の概要については、当院のホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

収益の構成



費用の構成



健康講座

を開催します

皮膚・骨・血管
知って得する加齢変化
～看護、検査、リハビリの視点から～

参加無料
先着80名



亀岡市立病院の看護師、臨床検査技師、理学療法士が、加齢変化と予防についてお話しします。

健康に関心のある方は、どなたでもお越し下さい。(申込み不要)

講演

◆「もっと知ってほしい！加齢に伴う皮膚の変化とスキンケア」
看護部 皮膚排泄ケア認定看護師 山内 有香里

◆「あなたの血管、硬くなっていませんか？」
臨床検査科 臨床検査技師 吉良 智明

◆「知っておきたい、高齢者に多い骨折とその予防」
リハビリテーション科長 理学療法士 織田 史雄

日時

平成29年1月28日(土)
午後2:00～3:00

会場

亀岡市立病院 2階
ウェルネスホール

お問い合わせ
〒621-8585 亀岡市篠町篠野1-1
亀岡市立病院 TEL(0771)-25-7313(代表)
担当:地域連携室



◆JR馬堀駅より徒歩約5分 駐車(輪)場 有り

Topics : 亀岡市立病院を見つけよう!

亀岡市立病院は、病院内だけでなく、病院の外にスタッフが飛び出して、病気にまつわること、健康に過ごすための方法、その他の情報発信などについて、あちこちで講演等の活動を行っています。さあ、みなさん、いろんなところで市立病院を見つけて(そして参加して)ください!

◆◆これまでに実施した取組について紹介します◆◆

平成28年度亀岡市立病院健康講座

日時： 9月10日(土) 午後1:30~3:00

場所： 亀岡市役所 市民ホール

テーマ： 受けてますか?特定健診・がん検診!
~知らなきゃ損する、健診結果のツボ~

市立病院の5名の医師が、健(検)診結果や、高血圧、肝臓のこと、大腸がん・乳がんについてお話しました。



当院
主催

亀岡市教育委員会主催の家庭教育支援事業「子育て・親育ち講座」で講演

日時： 10月21日(金) 午前10:30~12:00

場所： 市立幼稚園 1階 遊戯室

テーマ： 乳がんで大切な命を失わないために

田中宏樹診療部長兼外科主任部長が、参加した子育て中の保護者等に対し、データなどを示しながら乳がんについての説明を行いました。



亀岡市主催の健康いきいきフェスティバル2016に参加

日時： 10月30日(日) 午前11:15~午後3:15

場所： ガレリアかめおか

テーマ： 早く見つけよう 糖尿病

濱口真英糖尿病内科部長が、糖尿病について講演した後、質疑応答を行いました。参加された方からは、熱心な質問があり、それに対し、わかりやすく解説がされました。



第3回認定看護師セミナー

日時： 11月25日(金) 午後5:30~6:30

場所： 亀岡市立病院 ウェルネスホール

テーマ： 明日から役立つストーマケア

皮膚・排泄ケア認定看護師である山内有香里看護師が講師となり、実際に使われる様々なストーマを使用しながらお話し、参加者に、ストーマケアに関する知識・理解を深めてもらいました。



JR亀岡駅のどかめロードに市立病院専用の掲示板を設置しました

日時： 11月28日(月)

場所： JR亀岡駅のどかめロード
改札前の柱



今後、市立病院のイベント情報などを掲示していきますので、みなさん、ぜひ、注目をしてください!

当院
主催

亀岡市立病院 Facebookページ

フェイスブック始めました

当院で実施したイベントや、病院にまつわるあんなことやこんなこと、まじめな内容から日常のなにげない出来事まで、折にふれて、随時お伝えしていきます。

『亀岡市立病院 フェイスブック』で検索してください、そして、「いいね!」をお願いします。

(市立病院ホームページからも入れます。)

当院
主催

糖尿病教室からのお知らせ

お正月も過ぎ、ますます寒くなる時期ですが体調にお変わりはないでしょうか？お正月太りされた方もそうでない方も、気分転換がてら糖尿病教室に遊びに来てみませんか？講義だけでなく、実演や質疑応答も行っています。どなたでもご参加できます。皆様のご参加をお待ちしています。

開催予定	講義内容	講師
1月17日(火)	もう一度よく見てみよう自分の体型と糖尿病	医師
2月21日(火)	検査で知ろう あなたの体	臨床検査技師
3月21日(火)	知っていただきたいインスリン治療のメリット	薬剤師

やむを得ず、日程や内容の変更を行う場合があります。その際は院内の掲示板に掲示しますので、ご確認ください。
糖尿病委員会



新任職員紹介

看護部
看護師

森 麻衣子



今年の5月から(10月からは常勤職員として)、1病棟で勤務している森麻衣子です。地元が亀岡で、京都市内の病院で4年間勤務してきました。ミュージカルが好きで、休日には観劇に行きます。幕が開くとそこはアフリカの大自然だったり、都会のごみ捨て場だったり、1400年代のパリだったり。そこにどっぷりつかり現実を忘れさせてくれます。観劇し終わると現実世界を生きる活力が湧いてきます。ともすれば忘れがちな「人生の感動」や「生きる喜び」。それを患者さまと共有できるような看護師になりたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

病院職員紹介

今年の四月より二病棟で看護助手としてお世話になっている富士原と申します。

私は舞台を観ることが好きで劇場まで足を運んでいます。舞台はテレビや映画とは違い、決められた視点ではなく、自分の見たい視点で観ることができるのが魅力であり、主役はもちろんのことですが、台詞を話していない後ろや端にいる人々の動きを観ていると面白いのです。出演者だけではなく、セット転換や照明によって演技の見え方も変わってくるので、裏方と呼ばれる方々も含め、劇団全員がチームとなって作品を創っているのだと感じながら楽しんで観ています。

一つの作品でもさまざまな視点から物事を見ることで新たに気付くこともあるので、この着眼点を仕事にも活かしていけるように頑張りたいと思っています。



看護部
看護助手

富士原 恵



当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組む、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

地域連携医のご紹介

上原 医院

院長：上原 久和

住所：亀岡市西町37

TEL：0771-22-0347

標榜科目：小児科、内科

診療時間：午前8:00～11:45、午後4:30～7:00

(火曜日午後のみ4:00～5:30)

火曜日午後3:00～4:00と

金曜日午後4:00～4:30は、乳幼児予防接種(予約制)

休診は、日曜日・祝日・水・土曜日午後



院長より一言

当院は亀岡駅と市役所のほぼ中間、亀岡市のいわば地理的中心に位置している小児科医院です。登園(校)前にも受診しやすいよう朝8時から診療していること、病児保育室を併設していることが大きな特色です。病児保育室ユーストでは、保育園に通園できない病児を専門的に保育看護することで、病児が安心して最適な環境で療養できるよう、職員一同熱心に取り組んでいます。

患者さんの多くは小児ですが、長年にわたり通院中の高齢の方もおられ、ときに貴院にお願いしてお世話になっております。その際は、いつも迅速、的確にご指導いただいており深く感謝しております。10月の病診連携懇話会では、院長はじめ貴院職員の皆様の医療連携向上にける強い熱意を伺うことができ、今後貴院が亀岡市の医療的中心として益々ご発展されることを確信した次第です。当院としても微力ながら連携推進に尽力して参る所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年をふりかえると熊本、鳥取の大震災、北海道の台風被害と大きな災害が目立つ年でした。あらためて自然災害の怖さを感じさせられるとともに、災害に対する備えの重要性についても再認識しました。2017年は、災害の少ないことを願いつつ、明るい話題の多い年になることを期待したいものです。これからも、市民の皆様から信頼される病院を目指してまいりますので、本年も宜しくお願いします。

広報委員会委員 木澤 明宣 (臨床検査技師)

広報誌読者からのご意見等募集案内

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させていただきます。テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちしております。

採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等のご返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 西田 (平日、午前10時から午後3時まで)

外来担当医表

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上原 有紀子	うめ むら あつ し 榎村 敦詩	おか だ よし ひさ 岡田 頼久	—————	岡田 頼久
循環器内科	にし まさ ひろ 西 真宏	ひく い けん ずけ 福居 顕介	もと やま しんいちろう 本山 晋一郎	福居 顕介	まつ お りょう へい 松尾 龍平
一般内科	き むら たい こう 木村 兌弘	けい ら 夏 哉 志村 勇志(予約のみ)	むら かみ まさ お 村上 雅朗	濱 口 真 英 村 史 子	木村 史子
神経内科	—————	—————	—————	まつ うら じゅん 松浦 潤	—————
糖尿病内科	—————	—————	はし 橋 もと よし たか 橋本 善隆	—————	おお さか たか しみ 大坂 貴史
糖尿病内科 午後(予約)	—————	—————	はま 濱 ぐち まさ ひで 濱 口 真 英	濱 口 真 英	濱 口 真 英
ペースメーカー 外来	—————	—————	—————	—————	松尾 龍平 (偶数月の第2週)
皮膚科	—————	—————	かね まる ま い 金丸 麻衣	—————	あさ い じゅん 浅井 純
泌尿器科	—————	な や よし お 納谷 佳男	—————	—————	—————
泌尿器科 午後(2時~4時)	—————	—————	—————	ぬく い まさ のり 温井 雅紀 (第2・4週)	—————
外科1診	あき いけ ひさし (第1・3・5週) 荒木 康伸 あき やま 康伸 (第2・4週)	担当医	田中 宏樹	天池 寿	荒木 康伸
外科2診	—————	わた なべ あきら 渡邊 陽 (乳 腺)	—————	ゆたか ようじろう 豊 洋次郎 (呼吸器)	—————
外科 午後(予約)	た なか ひろ き 田中 宏樹 (乳 腺)	渡邊 陽 (乳 腺)	田中 宏樹 (乳 腺)	—————	—————
麻酔科 (ハインリック)	はし もと とも こ 橋本 朋子	—————	—————	—————	橋本 朋子
眼科	なが た けん じ 永田 健児	担当医	—————	担当医	—————
整形外科 1診	く ぼ やす おみ 久保 恭臣	玉井 和夫 (予約のみ)	久保 恭臣	担当医	つじ よし ろう 辻 吉郎
整形外科 2診	やま さき てつ ろう 山崎 哲朗	山崎 哲朗	山崎 哲朗	—————	久保 恭臣
整形外科 3診	たま い かず お 玉井 和夫	—————	—————	—————	—————
小児科	てら まち しん じ 寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二
小児科 午後(予約)	寺町 紳二 (循環器)	寺町 紳二 (予防接種)	寺町 紳二 (予約外来)	寺町 紳二 (循環器・アレルギー)	寺町 紳二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車場(輪)

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
 TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～